

長崎での開催に満足、満足

大学15回生



夜景が自慢の宿「矢太樓」にて



坂本龍馬にも会いました

「いちご会」は、2年前京都にて「古希祝」と称して行われ、中締めの万歳の後に次は長崎でやろううぐとの声が上がり、平成28年11月20日（土）長崎・夜景が自慢の宿「矢太樓」で開催されました。11月とは思えないような温かい天候に恵まれ、30名（関東4中部関西8中国2九州16）の仲間が各地より元気に集まりました。再会までの間に4名の友が亡くなり黙祷、五十嵐会長のあいさつに続き、菅沼君の乾杯で総会は始まりま

した。彼には趣味で作られた陶器の盃を人数分持ち込まれ、それに「四極のお酒」を注ぎ一味違う乾杯になりました。

長崎の夜景を見る暇もなく（？）、宴会も盛会のうちに校歌寮歌、逍遙歌を齊唱し、紅一点三ヶ尻さんの中締めで無事終了、来年は「卒後50年」と声が上がり、大分開催が決定しました。その後別室にて恒例長崎の地酒で二

次会も盛り上りました。
翌日は「長崎さるく」（長崎弁でぶらぶら歩くの意味）のガイドで坂本龍馬の足跡をたどるコースを2時間、約2キロを歩きました。20名の参加で、私は地元でありながら未経験でしたが、非常に楽しく皆さんにも喜んでいただきました。総会は卓

袱風の料理だったのに、最後に中華料理で長崎の味を満足頂いたものと思つております。

ただ、ゴルフを毎回楽しみにしていた仲間には、非常に申し訳なく思つておりますが、翌年も「いちご会」は大分でありますので、次期幹事に譲りたいと思います。

”次回は地元大分に皆さん集まりましょう!!“

▼参加者（敬称略）

青井紘、青柳忠良、東方匡輔、五十嵐副夫、板橋紘平、小川清一郎、加志田智久、河上博文、川口吉三、栗原稔、桑原孝行、斎藤昇行、品川敏樹、首藤充正、菅沼寛彦、宗純忠、高嶋萬祥幸、高橋淳吉、田村謙二郎、鶴崎和幸、東賢次、別府猛、眞竹賢司、町田安生、松尾邦雄、松本英樹、三重雅夫、三ヶ尻悦子、光嶋靖昭、山口紘治 以上30名

（長崎幹事 三重雅夫 記）